

科目ナンバリング		G-LET12 61531 LJ36									
授業科目名 <英訳>		中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 武田 時昌			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		中国の思想と科学(下)									
[授業の概要・目的]											
<p>人文学はいま岐路に立たされている。存在とは何か、世界がなぜむしろ実在するか、不可知であることを前提にして至遠の理を洞察せよとはどういうことなのか。ゲノム解読によって示された生命観、歴史観は、過去の哲学的命題をちらにし、人類の文明史観、文化認識はちっぽけな自己満足にすぎないことを言い立てている。世界の永遠とは落陽の女神とともに海の彼方に沈む運命にあり、旅だった愛すべき詩人は二度と詩歌を口ずさんでくれない。</p> <p>再生医療や不妊療法が難病克服を旗頭にして生命操作の危険を冒しはじめた現今、先端技術の暴走族をどんな倫理規範で取り締まればいだろうか。論じえないことに沈黙せねばならないとしても、語りえないことを語り続ける価値はある。では、パラダイムシフトの旗手となる未来の若者にいったい何を語り継ぎ、世界の記憶とすればいいのか。</p> <p>現代人は多忙で苦悩に満ちた日常に立ち尽くしている。高度な科学技術がもたらした長寿社会やネット世界は、前近代社会と比較してどれほどの幸福感や安堵感を増進させたというのか。「いかに生きるべきか、どのように生き長らえ、死を迎えるのか」、そんな問いかけに模範解答すら提示できないでいる。科学的、実証的であろうとする人文学は、生きる知恵というサイエンスの原義に回帰すべきである。</p> <p>そのような視座に立って、東アジアの伝統科学文化を振り返れば、天地自然と人倫社会の相互作用をアナロジーにして、社会のあり方、人間の生き方をユニークな思索を巡らしている。自分らしく生きること、考えることを追究するうえで、有益なアイデアをそこにいくつも見出すことができる。そこで、本授業では、老子と易の自然哲学を思想源とし、漢代の思想革命を経て醸成した中国的パラダイムに構造的把握を試み、その特質や可能性、限界性を探る。</p> <p>なお、前期は古代(先秦から漢まで)、後期は中世から20世紀までを議論する。</p>											
[到達目標]											
東洋的思考のルーツを辿りながら大学生活の知的活動がいかにあるべきかを問い直し、生き方、考え方のパラダイムを古代人の叡智に学ぶことで、真の学問に目覚めた読書人としてキャンパスを独り歩きできるようになる。											
[授業計画と内容]											
<ol style="list-style-type: none"> 1.一にして多、多にして一の多次元俗流空間：子部書の雑木林 2.百六陽九災厄的死亡筆記本：終末論の中世的展開 3.三善清行の革命勘文と長寿者の食卓：終末論の日本的展開 4.幻の六番扉の向こうに七色の虹が出ています：中世社会色彩文化論 5.ヒナまつり、雪まつりの念動力：年中行事のサイエンス 6.網路妹妹們的語る身体：仙界ユートピアの不死幻想 7.血と骨のフォークロア：孟姜女伝説の思想史的考察 8.宋儒が発見した聖図の想像力：象数易の新展開 9.ささやく魔術のレベル7：近世万能薬の文化史 10.黒服ライダーはいかにして都市伝説となったのか：日用類書の科学啓蒙 11.ほら吹きピットの空島漂流記：東と西の科学の出会い 											
----- 中国哲学史(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国哲学史(特殊講義)(2)

- 12.自鳴鐘は文明開化の音がする：東アジア四大発明新論
13.君は希望の目録に何を記憶させるのか：中国非物質文化論
14.宇宙博士のターニングイースト：東アジア伝統科学の復権
15.君の一声でとうとう発進です：東洋思想の終着駅

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

平常点（自主レポート歓迎）。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学習（予習・復習）等】

フィードバックの方法については、授業時に指示する。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。